

令和2年2月27日

保護者の皆様

大阪府立登美丘高等学校
校長 山本 哲哉

『保護者・生徒・教職員による本校教育活動の自己診断』結果について（ご報告）

このたびは、学校教育自己診断にご協力いただき、誠にありがとうございました。

本校は、大正13年に黒山高等実践女学校として産声をあげ、今年度で創立96年目を迎えました。

これまで2.7万人を超える卒業生が巣立ち、各方面で活躍をしています。

現在、本校では、これらの歴史と伝統を踏まえながらも、さまざまな教育活動において新しい伝統づくりに取り組んでいます。また、同時に、「学校教育自己診断」として、保護者・生徒・教職員を対象にアンケートを実施し、教育活動の改善に努めております。

令和元年度のアンケート結果及び分析がまとまりましたので、今後に向けた取組も含めてご報告いたします。

【1】 学校の概要

平成31度は、3年生9クラス、2年生8クラス、1年生8クラスの合計25クラス995名でスタートしました。

9月には第68回学校祭（歌合戦・文化祭・体育祭・後夜祭）を生徒会執行部が中心となって実施し、文化祭では1900人に迫る皆さまに來校していただき、とても盛況なものとなりました。生徒の自主性を重視した取組みとして、登美丘の伝統行事となっています。

部活動については、全校生徒の約85%が加入し、運動系・文化系ともに活発に活動しています。ダンス部は、WODで世界2位とすばらしい活躍ができました。吹奏楽部は府のコンクール南地区大会で13年連続金賞受賞、水泳部（男子50m自由形）は近畿新人大会に出場しました。その他のクラブも府や地域の大会で数多くの賞をいただき、終業式等で披露しました。

修学旅行は、12月に沖縄・宮古方面（3年連続の初年度）へ行きました。生徒の満足度は90.5%（別アンケート）となり、好評でした。

語学研修・海外交流として、4年目を迎えるアメリカ語学研修（シアトルのセントリッジ校へ）も、アメリカから12月に短期の研修生9名を受け入れ、今年の3月にはこちらから10名がアメリカに行く予定です。

【2】 本年度の自己診断実施状況

- ・全学年（生徒・保護者・教職員）でアンケートを実施しました。
- ・保護者へのアンケートは11月中旬から（回収率92.1%（昨年度92.9%））、生徒へのアンケートも、11月末に実施しました。
- ・本年度も経年変化を見るために昨年と同じ質問としました。保護者には昨年同様、診断アンケートとともに学校からの現況報告等のプリントを添付しました。

【3】 学校教育自己診断アンケートの結果について＜（H30→R1）の比較＞

○学校生活について：生徒・保護者ともに学校生活全般についての肯定感が高い。

生徒回答では、「学校行事は楽しい」（89→92%）、「部活動への取組」（81→84%）、「生徒会活動・HR活動は活発である」（76→83%）と肯定率は高く、「学校へ行くのが楽しい」においては（86→89%）と高水準です。保護者回答では、「学校行事の取組」（90→91%）、「部活動への取組」（78→79%）、「学校に行くのを楽しみにしている」（84→86%）と微増し、生徒・保護者ともに学校生活全般について、今年度

も高い評価をいただいています。

多くの生徒が学校生活・行事に積極的に参加し「学校の規則をよく守っている」(95→96%)と回答していることから、生徒は与えられた環境・ルールの中で、学校生活を有意義に楽しく過ごしていることがよくわかります。また、「家庭で学校のことについて話をする」は(73→73%)と同率で、保護者と生徒のコミュニケーションは比較的良好に取れているものと思われます。

外部(塾、中学等)の評価でも「登美丘の生徒や卒業生は、学校に満足している」、いわゆる学校満足度が高いという評価をいただいています。今後もこれを大切に継続していきたいと考えています。

○授業や学習への取組：授業への取り組み態度は「良い」を維持しているが、家庭での学習時間は十分とは言えない状況である。

生徒回答では、「授業への取組」は(86→89%)と高いが、保護者回答では「一日1時間以上家庭で学習している」においては、「よくあてはまる」が(22→21%)に微減し、肯定率は(45→47%)に微増であるが、十分な学習時間とは、到底言えない。学年別では一年(32→40%)・二年(40→41%)・三年(63→61%)であり、「全くあてはまらない」は(18→15%)に微減しています。「塾・予備校で学習している」は、(40→39%)とほぼ変わらず、一年(27→27%)・二年(35→36%)・三年(56→52%)が塾・予備校を利用していると回答しています。

学力は授業だけではつかないので、しっかりとした家庭学習の習慣の定着をめざし、個々の進路目標実現に近づけるようにしたい。そのため、声かけや地道な努力が必要であることを知らしめるとともに、日々の予習復習、週末課題のあり方などの見直しをすすめ、またクラブ(ノークラブデーも含め)との両立をめざすためにも、時間の有効活用や自習室の利用の促進など、引き続き指導を続けてまいります。

○保護者の9割から「登美丘に進学させてよかった」との回答を得ており、「よくあてはまる度」も5割である。さらなる「授業力のアップ」による「わかる授業」と「進路指導の充実」が求められている。

教育目標の一つとして、より良い授業を行う、いろいろな教科において、発表の場を持ち自己の考えをまとめ発表するということを掲げています。

生徒回答では、「授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある」は(71→78%)に増加した。英語は2月に1年生でPresentation Contestを行った。同じく1年生の情報の授業では、パワーポイントを使ったプレゼンに取り組み、「ビジネスアイデア甲子園」に応募したところ、学校賞をいただいた。他の授業においても、アクティブラーニングの手法を用いるなど、いろいろと試みているところが増加につながっていると思われる。また、「授業はわかりやすい」(68→75%)、「先生に質問しやすい」(72→76%)と、授業力アップをめざしている成果が出てきている。さらなる授業力アップが図れるよう取り組みを進めてまいります。

保護者回答では、「登美丘に進学させてよかった」は(92→91%)とほぼ変わりません。「よくあてはまる」の回答も(51→51%)同率。「学習指導に満足している」(80→81%)、「進路指導に満足している」は(77→82%)と増加できました。ただし、いずれも「よくあてはまる」の回答が(21→19%)、(20→20%)であり、ほぼ同程度を維持しているものの全アンケート質問項目中では低い数字となっています。記述意見の中にも学習・進路に関するものも多く、学習指導・進路指導のさらなる充実への期待は大きいと捉えています。学習面においては、授業アンケート等により、現状をチェックし、授業のさらなる充実・工夫に努めていかなければならないと考えています。進路指導については、全体への進路指導に加えて、きめ細かい個々の進路相談にも力を入れ(その一つとして「国公立大学」希望者への指導(昨年度現役7名合格))、個人がしっかりと実力をのばし、自己実現につながるよう指導していかなければならないと考えています。

○情報発信について：活用され、一定の評価をいただいているが、改善すべき点もあり。

保護者回答では、「ホームページを見たことがある」(88→91%)、「365日いつでもネットは役立っている」(80→79%)と、情報ツールについては、ほぼ定着して活用され、一定の評価をいただいていると考えられます。ただし、ホームページはスマートフォンに対応しておらず、改善の要望がかなりあった。それを受けて、本年度刷新しました。(2月5日更新)。一方、「連絡プリントは必ず見る」(67→68%)、「成績資料は必ず見る」(81→82%)とそう高くはなく、まず生徒から保護者へプリント等がきっちり渡されるよう徹底するのはもちろん、さらに4月初めの「365日いつでもネット」の登録の際に、多くの保護者に登録していただけるようにするのが大切であると考えています。また、情報の共有と発信のために、在校生徒の出身中学校を訪問しています。6年前から学区撤廃(入試制度変更)となり、南河内(大阪狭山・河内長野・富田林)の中学校からも多くの生徒を迎えているため、その方面の中学校も訪問しています。今後も中学校との連携を深めながら教育効果があがるように継続していきたいと考えています。

○記述意見に対する返答

- ・スマホ等の使用に関する意見について、基本校内使用禁止の線であるが、生徒会での活動、『自分たちでルールを守って、行事などでの使用を』が行われており、その成果を見守っている状況である。また、LINE講習会なども行い、使い方などの注意喚起も行っている。
- ・あいさつが以前より少なくなり活気に欠けるとの意見について、人間関係構築のスタートであるあいさつ、もっと大切にしていきたいと考えています。

○教職員アンケートの結果

「生徒の進路実現に向けて講習等を積極的に実施し、学習意欲や学力の向上を図る」(94→91%)、「学習到達度の低い生徒に対しての適切な学習指導(補習等の取組み)」(90→89%)、「計画的な進路指導」(92→93%)、「生徒の進路希望に応じた情報収集や活用」(90→87%)、「服装、頭髪、挨拶等の基本的生活習慣に係る指導」(88→89%)等、肯定率を維持しております。

「学校行事や校務分掌等において、Plan(計画), Do(実施), Check(点検), Action(改善)が実施されている」は(72→61%)に減少しましたが、「教職員間で情報交換が十分行われている」(68→76%)は増加しました。進路指導と生徒指導は生徒を育てるための両輪であるので、教職員間で指導のあり方を再確認するとともに、報告・連絡・相談を密に行い、一致して取り組んでまいります。また、PDCAサイクルのCAが次のステップアップにつながると考え、総括会議等をしっかり行い、PDCAサイクルを意識して回してまいります。

【4】 第三者による学校評価

学校運営協議会(委員構成：大学准教授(会長)、地元中学校長、地元自治会会長、学習塾校長、本校PTA会長、本校同窓会会長)

<第1回> 令和元年6月25日(火) 14:00~16:00

協議内容等

- ① 学校運営協議会について
学校運営協議会実施要項
会長、副会長選出
- ② 報告
平成31年度の学校経営計画について
平成30年度進路状況について
教科書選定について

- ③ 学校案内と授業参観
- ④ 今後に向けた課題（さらなる希望進路実現の方策）について

<第2回> 令和元年9月14日（土）14:00～16:00

協議内容等

- ① 文化祭視察
- ② 報告
令和元年度学校経営計画進捗状況について
授業アンケートの振り返りについて
教科書選定について 等
- ③ 各委員からのご意見と今後に向けた課題について

<第3回> 令和2年1月28日（火）14:00～16:00

協議内容等

- ① 令和元年度進路状況について
- ② 令和元年度学校教育自己診断の集計結果について
- ③ 令和元年度学校経営計画達成状況について
- ④ 令和2年度学校経営計画について

【学校運営協議会からの提言】

令和元年度の学校経営計画は、概ね達成している。個々の生徒の進路希望に沿った指導をこれからも続けて行ってほしい。入試制度改革がまだはっきりしない中、進路指導大変だと思うが、経営計画にのっとりしっかり取り組んでほしい。また、教職員のコミュニケーションを深め、進路につながる家庭学習の確立等に努めていてもらいたい。

【5】 今後に向けて

いろいろな課題や生徒・保護者の要望を真摯に受け止め、教職員一丸となって、めざす登美丘高校生の育成に努めてまいります。今後ともより一層のご理解とご協力をお願いいたします。